



ぴょんぴょん

VOL.3 豊岡市教育委員会
幼児育成課
2024年9月20日（金）発行

楽しく遊んで、色々な力を育もう！

今年度も定期的取組・設定保育・連絡会にご協力いただき、ありがとうございます。先生方の保育から学んだことを活かし、充実した巡回訪問となるよう努めていきます。今後もよろしくお願いいたします。

さて今回は、連絡会などでお聞きした子どもの姿から、発達を促す働きかけと、育みたい力に合わせたおススメの遊びをご紹介します。一人一人の成長のヒントになれば幸いです♪



周りが見えにくかったり、落ち着きにくかったりして、怪我やトラブルが心配…。

脳は興奮系が先に成長し、抑制系は後から成長するので、幼いうちは本能的な行動が抑えにくいもの…。「動」と「静」の動きを交互に繰り返す遊びの中で、楽しみながら、集中したり動きを止めたりする経験を重ねましょう。

素早く動きを変える遊びがおススメ！

ぐるぐるピタッ！

ぐるぐる～！ ストップ！！



タオルの端を持ち合い先生（軸）の周りを走り、ストップの合図で、ピタッと止まるう！

クマさんが転んだ

クマさんが…転んだ！



「だるまさんが転んだ」と同じルールで楽しもう！カンガルーやワニなどに変えても good！



ぎこちなく、真似をすることが苦手…。成功体験を増やしてあげたいな。

自分の思い通りに体を動かす力は、発達の仕方がそれぞれでも、経験をもとに着実に成長します。不器用さを感じる子ほど、特に「楽しい記憶」を増やしましょう。

「友達と触れ合う」「ゲーム性がある」遊びが楽しさへ！

おもいゴロゴロ

顔を見合わせてニコッ♪



せ～の！つながって転がろう！

坂道、曲がり道、凸凹道など、色々なおもいゴロゴロに挑戦してみよう！

ジャンケントンネル

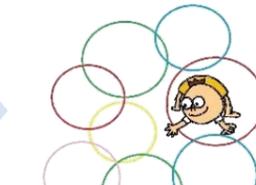


じゃんけんポン！

ジャンケンに勝った人はトンネル、負けた人はワニでくぐろう！スピードアップしながら、連続してやってみよう♪

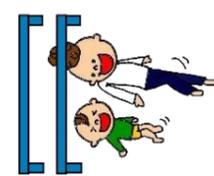
日常生活であまり経験しない動きを楽しもう！

ワナに気を付けて！



手も足も気を付けて…フラフープに触れないようにクマ歩きで進もう！

ラッコトンネル

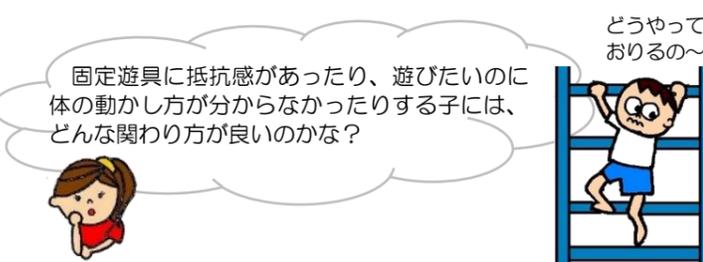


あお向けになってくぐってみよう！

逆さロボット



先生足の甲に、子どもの手を乗せ、一緒に動いてみよう！



固定遊具に抵抗感があったり、遊びたいのに体の動かし方が分からなかったりする子には、どんな関わり方が良いのかな？

動きの経験が少ないと、慣れない遊びで戸惑うことも…。高所・逆さま・回転など非日常的な動きを経験し、体の感覚を育てましょう。

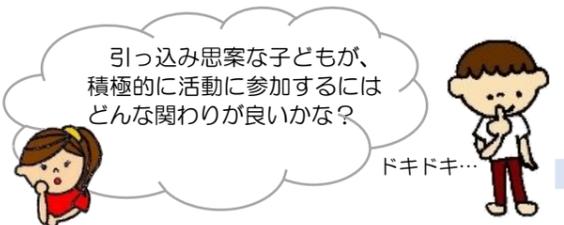
秋の訪れを感じる時期ですが、今年はまだまだ暑い日が続いています。先生方におかれましては運動会などの行事に向け、忙しい日々をお過ごしかと思います。疲れが出やすい時期です。ご自愛ください。

さて、多くの園で2回目の巡回訪問を迎えました。前回の遊びを発展させ、子ども達の興味や挑戦意欲が益々高まるよう展開していきたいと思っています。

幼児育成課 山内 夢斗哉・上野 真希



運動遊びに関する情報を発信しています。



引っ込み思案な子どもが、積極的に活動に参加するにはどんな関わりが良いかな？

ドキドキ…

ゆっくり丁寧な動きがおススメ！

クマさんの橋渡り



2本の線を橋に見立て、落ちないように渡ってみよう！

いじわる縄跳び



動いたり止まったりするへびの動きをよく見てジャンプしよう！

友達から認められる経験は安心や意欲につながります。緊張しやすい子どもは、慎重な動きやピタッと止まるような遊びが得意なことが多いので、見本になってもらったり、皆に紹介したりして、自信を育みましょう。



〇〇くん、すごいなあ！

どんな姿も見方を変えるとその子の強みになります。一人一人の良いところを皆が知り、認め合えるクラスって素敵ですね♪

「楽しい！嬉しい！」をたくさん感じることで、子ども自らの経験を増やし、色々な力を身に付けていく近道になるのじゃ！先生の笑顔で子どもの心が動くチャンスがさらに増えそうじゃな♪

参考文献：柳澤弘樹 監修「発達障害の子の脳を育てる運動遊び」/講談社(2015)
柳澤弘樹 監修「発達障害の子の脳を育てる忍者遊び」/講談社(2016)

園での取組をご紹介します！ ～in 福住幼稚園～

福住幼稚園では、日々継続して「タオル遊び」に取り組んでおられます。全身を動かすタオル体操や、友達との触れ合い遊びなど、色々な経験につながる遊びの工夫がとても素敵でした！

ぜひ、各園でも保育の中に取り入れてみてください♪



タオル体操

▲音楽に合わせて、前回し・後ろ回し・交差・ジャンプなど、色々な動きを楽しみます。継続した取組みで、体の感覚が育まれます。



魚釣り

▲体の感覚が育つ幼児期に、人と触れ合い、お互いの力を感じ合う遊びは特に良い経験です！



一本橋

▲バランス遊びの様子。出会ったところでじゃんけんポン！最後は全員のタオルをつないで、大きな円を歩きます！

思い切り体を動かす→友達と触れ合う→慎重な動きを楽しむという遊びの展開により、子ども達は最後まで集中し存分に力を発揮して楽しむ様子が見られました！